

ほっと 通信



参院議員(比例区)

浜田 昌良

先月中旬、石川、富山両県で自治体の首長や各種団体から政策要望を聞く会に出席しました。

石川県輪島市長から、北朝鮮籍と思われる不審船の急増に対する要望を事前に頂き、海上保安庁次長と協議。不審船の急増する冬場の海上巡視や警察との連携頻度の拡大を実施してもらうことになりました。七尾市の和倉温泉旅館協同組合からは、滞在型宿泊に向けて海と港を観光に生かすウォーターフロント構想への支援や、外国人労働者の受け入れ拡大へ新しい在留資格

北陸で首長・団体の要望聞く

創設の要望を頂きました。

一方、富山県では、魚津漁業協同組合から、黒部川のダムの土砂排出について要望を受けました。土砂排出は国交省などが行っており、沿岸ではその影響も調べられています。同漁協などは、深海でのズワイガニ漁を行ってききましたが、近年、カニ漁の籠に泥が付着しているというのです。私は国交省などと交渉し、来月、初めて深海調査が実施されることになりました。

政策要望で頂いた皆様のお声をカタチにするため、さらに取り組んでまいります。